

県立図書館 郷土資料関連展示

Study Nature !

あおやなぎまさひろ
～和歌山を愛したナチュラリスト青柳昌宏の軌跡～

和歌山県ゆかりの教育者、青柳昌宏氏（1934～1998）は、一生を通じて自然を観察し、探求し続けたナチュラリストです。

東京で生まれた青柳氏は戦時中に粉河町（現紀の川市）に縁故疎開し、高校時代までを豊かな自然の中で過ごしました。東京教育大学を卒業後は、県立那賀高校、東京教育大学（筑波大学）附属盲学校等で生物の教師として熱心に指導にあたった一方、ペンギンの生態研究や自然観察の手法の提唱、自然保護教育の実践といった先駆的な活動を行いました。



青柳昌宏氏

この度、青柳氏の業績を広く知っていただくため、関連書籍、スケッチ原稿、関連パネル等を展示します。書籍は一部を除き貸出可能です。

日時：令和5年10月1日（日）～11月2日（木）

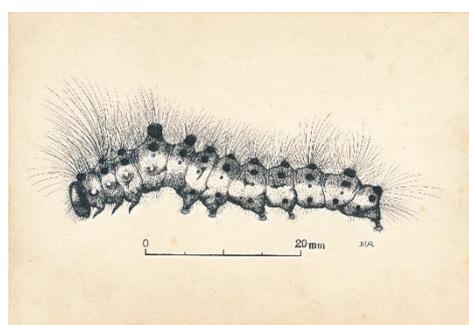
※10月15日（日）から一部資料を入れ替えて展示予定

場所：県立図書館閲覧室及びエントランスホール展示室

【内田啓子氏（青柳昌宏氏長女）による展示解説を行います！】

日時：10月1日（日）10：30～（30分程度を予定）

集合場所：県立図書館エントランスホール展示室



写真左：高校時代の青柳昌宏氏（1950年）

写真中央：精密スケッチ

モモクロサムライコマユバチ（1956年）

写真上：精密スケッチ ドクガ幼虫（1956年）

協力：内田啓子 後援：公益財団法人日本自然保護協会、ペンギン基金